

CONCOURS EDHEC 2019

ORAUX LANGUES

JAPONAIS

A large, solid pink triangle pointing towards the bottom right corner of the page.

Make an impact

起業家¹のあり方

今は建築資材²の製造会社だが、今後は女性のための生理用ナプキン³を作って販売⁴することにする。この決定は社内⁵で容易に受け入れられず、辞めた社員もいた。ユニ・チャームの創業者⁶である高原慶一郎さんが、以前そう語っていた。

生理用ナプキンは男性社員にとってなじみが薄い⁷というだけではない。そのころの日本では、薬局の奥でこっそり売られる「日陰⁸」の商品だった。テレビ CM⁹も自由に流せなかった。「社会通念¹⁰や古い意識を変える時や」と、高原さんは社員を説得¹¹した。営業に女性社員を選び、スーパーで売り場を手に入れ、広告のイメージも変えていった。

女性の社会進出を助けたいという気持ちが、まずあったそうだ。後から始めた赤ちゃん向けの紙おむつ¹²は、育児の負担¹³を減らす。その技術を使って、大人用の紙おむつも始めた。これも「ビジネスというより使命感¹⁴」から、介護¹⁵する人の負担¹⁶を減らし、高齢者を「寝たきり¹⁷」にさせたくないという願いを込めたと言う。

値段もそれほど高くなく質のいい生理用品は、学業や仕事をする女性の味方になる。困っている人、声に出して言にくい人の悩みを、技術と工夫で解決していく。先日 97 歳で一生を終えた高原さんの歩みは、起業家の一つのあり方を示している。

¹ 起業家 entrepreneur

² 建築資材 matériaux de construction

³ 生理用ナプキン serviette hygiénique

⁴ 創業者 fondateur, créateur

⁵ なじみが薄い peu familier, peu habitué

⁶ 日陰 ombre

⁷ CM シーエム publicité

⁸ 社会通念 idée reçue

⁹ 説得する persuader, convaincre

¹⁰ おむつ couche

¹¹ 使命感 sentiment de vocation

¹² 介護 aide aux personnes âgées dépendantes

¹³ 寝たきりになる ne plus quitter son lit

Source : Journal *Nikkei*, « Sunjyû », le 12 octobre 2018

参考 2018年10月12日付 日本経済新聞「春秋」

<https://www.nikkei.com/article/DGXXZO36401130S8A011C1MM8000/>

見える化

トヨタ生産方式¹のひとつに「目で見る管理^{かんり}」というのがある。現場のモノの流れを一目でわかるようにする方法だ。製造業ではよく知られているが、意外な分野にも広がっている。たとえば、パーソルチャレンジという会社は障害者の雇用^{こようそくしん}²促進^{しょうがいしゃ}³を目的としているが、この方法を取り入れている。

主に人材^{じんざい}⁴サービスの会社からセミナー案内の印刷^{いんさつ}やデータ入力^{じゅちゆう}などを受注^{じゅちゆう}して⁵いる。どのチームがどのような仕事を受け持っているか、仕事の進歩^{じょうきよう}状況^{じょうきよう}など、職場の壁^{かべ}に掲示^{けいじ}している。狙い^{ねら}は「障害のある人の不安^{あへ}やストレスを減らすこと^へ」だと、6年前から仕事の流れの「見える化」を進めてきた佐藤^{さとう}さんは説明する。

この会社で働く人には精神障害^{せいしんしょうがい}⁶のある人が多く、急に元気がなくなったり休んだりする場合もあるため、不安^{のぞ}を取り除くことが大切だ。仕事の流れや自分の役割^{やくわり}が「見える」と、気持ち^{こうか}を落ち着かせる効果があるそうだ。仕事を続けるに^やくい精神障害^{せいしんしょうがい}の人が多^やいが、入社してから1年以内に辞める人は数パーセントにすぎない。

名刺^{めいし}データの入力^{ふんたんひよう}チームのリーダーである社員は、仕事の分担表^{ふんたんひよう}⁷を作る。するとメンバーによっては忙しい時^{ひま}と暇な時^{ひま}がはっきりしてきたので、「名刺以外の仕事も引き受けたい」という。最近、障害者の雇用数を水増し^{みずま}⁸していた省庁^{しょうちよう}⁹や自治体^{じちたい}¹⁰も、不正を「見える化」して改善^{かいぜん}につなげたらどうだろうか。

¹ 方式 méthode, formule, procédé, système

² 雇用 emploi, embouche

³ 促進 promotion, accélération, activation

⁴ 人材 ressources humaines

⁵ 受注する recevoir des commandes

⁶ 精神障害 troubles mentaux

⁷ 分担表 tableau de répartition

⁸ 水増し majoration, gonflement

⁹ 省庁 ministère

¹⁰ 自治体 collectivité locale

Source : Journal Nikkei, « Shunjû », le 20 septembre 2018

参考 2018年9月20日付 日本経済新聞「春秋」

<https://www.nikkei.com/article/DGXXKZO35553880Q8A920C1MM8000/>

スマートフォン

昔から「薬もすぎれば毒¹となる」という。薬と毒の境界はあいまいで、表裏一体²でもある。痛み止めの薬は使い方によって毒になる。また、細菌³などの毒が薬になる例はたくさんある。「薬は天使ですが、いつ悪魔に豹変⁴する⁴かわからない天使です。」という専門家の言葉も見た。

「デジタルデトックス」と最近よく聞く。スマートフォンに代表されるデジタル機器にも、薬と毒の両方の効果があるようだ。依存⁵が進み中毒⁶を恐れる人などが機器をしばらく使わずに、デトックス、つまり毒を抜くらしい。

今まで毒の部分**を強く警戒⁷してきた教育の世界に変化が現れた。**文部科学省⁸は、学校へのスマホ持ち込み禁止を見直すという。現在は中学生の七、八割がスマホを使う時代だ。デジタル機器の学校での活用も進む。たしかにスマホは災害⁹時に無事を確認したり、子どもがどこにいるかを調べるのに大いに役立つ。親たちが学校への持ち込みを求めめることは理解できる。

しかし、依存や中毒がすでに問題になっている。持ち込みを認めれば、スマホ使用に対する心理的な壁は小さくなるだろう。長所、短所は表裏一体だ。毒だけ除いて薬の効果だけ利用するためには、しっかりした使い方のルールが必要不可欠だ。そのルールを守らせることができるか。毒の部分を見ないのは大人にとっても難しい。

¹ 毒 poison

² 表裏一体 les deux faces d'une même pièce

³ 細菌 bactérie, microbe

⁴ 豹変する faire volte-face, changer brusquement

⁵ 依存 dépendance

⁶ 中毒 intoxication, empoisonnement

⁷ 警戒する être (se tenir) sur ses gardes, faire attention

⁸ 文部科学省 ministère de l'Éducation, de la Culture, des Sports, de la Recherche et de la Technologie

⁹ 災害 désastre, sinistre, catastrophe, accident

Source : Journal *Chûnichî*, « *Chûnichî Shunjû* »

参考 2019年2月21日付 中日新聞「中日春秋」

<http://www.chunichi.co.jp/article/column/syunju/CK2019022102000123.html>

一人歩きする個人情報

G A F A（ガーファ）のテクノロジーは利用者のプライバシーを上手に集める。インターネットで何を探し、いつ何を買ったか、現在地などだけでなく、身につけた機器によっては心拍¹など身体的なデータまでも集める。本人は知らないうちに、個人情報が一人歩きする。このような状況に疑問を持ち、サービスに距離を置く動きもある。

妊娠している²女性がフェイスブック（F B）に「出産³」をテーマにした記事を書いていたら、自動的にベビー用品の広告が送られてきた。その後、彼女は死産⁴を経験し、子どもを失ったことを明らかにした。「私の赤ちゃんが亡くなったことに気づいて……」とツイッターに「手紙」を書き、F Bなど4つのIT会社へ手紙は送られた。それでも、彼女のソーシャルメディアにはベビー用品の広告が配信され続けた。停止を求めると、次は養子⁵を勧める広告が表示されたという。

F Bの利用者は世界で23億人。集めた個人情報を使って広告を選び出し、広告主⁶からお金をもらう。売上高⁷の90%は広告収入だ。

世界経済フォーラムのレポートは8年も前に、個人情報は巨大な富⁸になる「新しい石油」だと言っていたが、そのセキュリティはまだ危ない。F Bでは昨年、ハッカーによる攻撃で約2900万人分の個人情報が流出した⁹。たしかにG A F Aは革新的な¹⁰時代を築いて¹¹いるが、それだけでいいのだろうか。

¹ 心拍 pulsation

² 妊娠している être enceinte, attendre un bébé

³ 出産 accouchement

⁴ 死産 mortinaissance

⁵ 養子 adoption

⁶ 広告主 annonceur

⁷ 売上高 vente, chiffre d'affaire

⁸ 富 richesse, biens, fortune

⁹ 流出する fuir, s'écouler

¹⁰ 革新的な innovant, innovateur, rénovateur,

¹¹ 築く bâtir, édifier, fonder

時間の価値¹

私たちはいつも時計やカレンダーで時間を計る。「でもそれはあまり意味がないことなんだ」、という言葉がミヒヤエル・エンデ²の「モモ」にある。同じ1時間でも何をしたかで永遠³に感じたり、一瞬⁴に思えたりする。時の価値は過ごし方による。

短くしたい時間があり、長くしたい時間もある。忙しい現代人⁵は時間の価値には厳しいようだ。コンサルタントの松岡さんは、人気がある⁶レジャー施設⁷の価値を次のように説明する。着いてから楽しいだけでなく、楽しめるとわかっているので、出かける前にいろいろ調べる時間がかからない。

昔は小売業⁸のキーポイントは安さだったが、今は時間変わった。少し高くても、家に近いコンビニエンスストアが客を集める。最近では、店に行かなくても買い物ができるインターネット通販⁹がよく使われる。

そのネット通販の勢い¹⁰も「短いかもしれない」と松岡さんは言う。今では商品が多すぎて、好きなモノを見つけるのが難しいからだ。たくさんの品物から自分のための一つを選ぶのは、一瞬で過ぎる楽しい時間か、永遠にも感じるストレスか。モノを売る人たちにとって、工夫¹¹が必要な時代になった。

¹ 価値 valeur

² Michael Ende (1929-1995) écrivain allemand de littérature pour enfants

³ 永遠 éternité

⁴ 一瞬 un moment, un instant, une seconde

⁵ 現代人 contemporains

⁶ 人気がある populaire, en vogue, à la mode

⁷ レジャー施設 équipements de loisirs

⁸ 小売業 commerce de détail

⁹ 通販 = 通信販売 (つうしん はんばい) vente par correspondance

¹⁰ 勢い force, vigueur, élan

¹¹ 工夫 idée, moyen, invention, ingéniosité

無休天国¹

8月にフランス旅行に出かけたらレストランもブティックも休みで残念だった、という経験を持つ人は少なくないだろう。それに日曜はスーパーもほとんど閉まっているので、ニッポンの観光客は困る²ことになる。

日本のサービス業³は利用者にとって天国である。コンビニだけでなく外食⁴も量販店⁵もたいてい年中無休だ。24時間営業⁶もずいぶん広がった。デパートも昔は月曜や火曜は休みだったが、2000年に法律⁷が変わってからいつも店を開けている。

しかし、無休天国はそこで働く人々の努力⁸のおかげだ。回転ずしのチェーン店のスシローが、全国の約500店で今日から二日間の休みを取るそうだ。この世界ではめずらしいが、従業員⁹のためにもこういう休み方があっていい。

思い出せば少し前まで、世の中¹⁰はもっと不便だった。デパートは夕方の6時に閉店し、コンビニも午後11時に店を閉めていた。その時代に^{もど}戻るわけにはいかないが、このままでいいのだろうか。そう思いながら、外国に旅行すると日本のようなサービスが欲しくなってしまう。いちばん難^{むずか}しいのは意識^{いしき}¹¹を変えることだろう。

¹ 天国 paradis

² 困る avoir des difficultés, avoir un problème

³ サービス業 secteur économique des services

⁴ 外食 repas à l'extérieur

⁵ 量販店 grande surface

⁶ 24時間営業 ouverture 24 heures sur 24

⁷ 法律 loi

⁸ 努力 effort

⁹ 従業員 employé, personnel

¹⁰ 世の中 (dans le) monde

¹¹ 意識 conscience

「みんな」意識¹

「オジサンは何歳^{なんさい}からですか？」という質問のアンケートがあった。答えの平均^{へいきん}は43歳だった。グラフ³にすると、たしかに43歳のところは高くて山があるが、60代や20代のところは低い。これが世間^{せけん}の常識^{じょうしき}かと、40代半ばの男の人はさびしく思うかもしれない。

これとは違うグラフになったアンケートがある。「日本の人口は約1億3千万人です。このうち何人以上の意見なら世論^{せろん}といえますか？」という問いだ。答えの平均は約4千3百万人。しかし結果^{けっ}はバラバラで、グラフには山がぜんぜんない。

「みんなそう言っている。」「みんな持っている。」私たちが言う「みんな」とは何か。もう大衆^{たいしゅう}はいない、これからは個人の時代だと前から言われている。でも実は、ネットのソーシャルメディアで新しい「みんな」意識が生まれているようだ。

ソーシャルメディアでは、自分と同じ意見ばかりを読んだり、声^{こえ}が大きな一部の意見だけが目立っ^{めだ}たりする。少数の意見なのに「みんな」だと感じやすい。ネット上で育つ過激^{かげき}な世論が、社会の分断^{ぶんだん}¹¹につながることを忘れてはいけないうらう。

¹ 意識 conscience

² 平均 moyenne

³ グラフ graphique

⁴ 世間 monde, société, gens, public

⁵ 常識 sens commun

⁶ 世論 opinion public

⁷ 結果 résultat

⁸ 大衆 public, masse, peuple, foule

⁹ 目立つ se faire remarquer, ressortir

¹⁰ 過激 extrême, excessif, radical, violent

¹¹ 分断 division, déchetage

キャッシュレス

最近、スマートフォンやカードを「ピッ」と出すだけの「キャッシュレス決済¹」が広がっている。このサービスを提供²している会社は、鉄道や携帯電話、インターネット通販³、コンビニエンスストアなどさまざま。ポイントや割引⁴などをつけて、利用者を増やそうとしている。

日本では現金で払う人が多く、キャッシュレス決済は全体⁵の20%ぐらい。韓国の90%、中国の60%に比べて少ない。全国にたくさんの現金⁶自動預け払い機（ATM）があるので必要なお金をすぐにおろせる、治安⁷がいいので現金を持っていてもあまり心配がないことなどが理由だ。

しかし、現金を車で運びATMに入れる作業⁸は時間や人手⁹がかかる。人口も働く人の数もこれから減っていくこともあり、政府¹⁰は「2025年に40%」を目標¹¹にしている。

キャッシュレス決済のサービスを提供している会社には、「誰がどこで何を買ったか」というデータをビジネスに使う目的もある。個人情報保護¹²は十分か、スマホを持たないお年寄りなどにとって不便にならないか。そうした問題も考えなければならない。

¹ 決済 règlement, liquidation

² 提供する offrir, fournir

³ 通販 = 通信販売 (つうしん はんばい) vente par correspondance

⁴ 割引 réduction

⁵ 全体 tout, ensemble, totalité

⁶ 現金 argent liquide, espèces

⁷ 治安 ordre public, sécurité publique

⁸ 作業 travail, opération

⁹ 人手 main-d'œuvre

¹⁰ 政府 gouvernement

¹¹ 目標 but, objectif

¹² 個人情報保護 protection des données personnelles